

昭和五十六年度現代宗教研究所事業報告

1 近代日蓮宗年表の刊行

現宗研のスタッフを中心とする年表編集委員会ならびに作成委員会にて作成作業を積重ね、九月下旬に完成（奥付十月十三日）、十月当初に遠忌事務局を通して全寺院および宗門関係を中心とする教育・研究機関等に配布した。

本年表は、B5版・横組みにて総頁八一六頁にわたり、読みやすく、わかりやすく、活用しやすいことを主眼に編集し、掲載事項は二万余、作成段階での抽出項目は四万を超える。

年表の構成は、(1)日蓮聖人略年表 (2)日蓮聖人滅後〜近世略年表 (3)明治元年〜昭和54年の本年表 (4)諸宗教・社会（明治元年〜昭和54年） (5)近代日蓮宗年譜（明治元年〜昭和56年） (6)主要文献目録 (7)索引（主要事項）からなっている。

年表の特色は、(1)日蓮宗における信仰教義・布教・行政・社会事業・文芸等の動向を網羅していること、(2)日蓮宗の動向と諸宗教・社会の動きとを関連づけ近代史の中の日蓮宗の姿と歩みを把握できること、(3)「年譜」を記載し近代日蓮宗教団略史として理解できるよう便宜をはかり、年表項目と対照関連させながら個々の事項を一年ごとあるいは時代の流れの中で位置づけられること、(4)「日蓮宗教報」「日宗新報」「宗報」「日蓮主義」「日蓮宗新聞」など宗門関係の基本文献を典拠として客観的に主要事項を掲載していること、(5)文献目録と索引を通して、主要な動向を知るための研究の便をはかっていること、(6)平易で活用しやすいこと、等にある。

本年表刊行後、宗門はもとより研究者や他宗関係者から学問的価値をもつ文献として評価され、本年表は『日蓮宗

事典』と共に七百遠忌報恩事業の成果を象徴するとの声も寄せられている。しかし、年表は刊行によって完結するわけではなく、活用されることが必要である。今後は、昭和55年以降の事項を抽出発行し、さらに近代日蓮宗資料集の刊行や教団史研究の活性化をめざす方向を追求することが大切な課題である。

2 第十四回中央教化研究会議

一、日 時 昭和五十七年二月二十三日(火)二十四日(水)

一、会 場 池上本門寺・朗峰会館

一、開催趣旨 イ、宗門ならびに各教師のとりくんだ七百遠忌報恩の活動を話し合い、その成果と課題をだしあおう。

ロ、立正安国の教えを現代にいかすための教化の内容と方策について検討してゆこう。

ハ、教化にとりくむ教師間の連帯と資料教材の交流作成をはかるため、中央と地域における教化資料

センターづくりをめざしてゆこう。

一、統一テーマ 七百遠忌後の教化活動を考える。 — 知恩報恩と立正安国の浄行をめざして —

一、分科会テーマ

① 立正安国の教えと現代生活への活かし方 〈教学部会〉

② 子弟育成の内容とそのあり方 〈子弟教育部会〉

③ 青少年の現実と教化の対策 〈青少年教化部会〉

④ 寺院護持と檀信徒教化の事例と方策 〈寺檀部会〉

⑤ 社会問題に対する教師の姿勢と取組み 〈社会問題部会〉

⑥ 七百遠忌後の教化内容と組織づくり 〈教化組織・文書視聴覚部会〉

3 地域教化研究会議

(イ) 第三回九州教研…6・29、30、法華クラブ大分店▼分科会テーマ…「新しい布教態勢」「檀信徒の新しい組織作り」。

時間	23日(木)
10:00~10:30	受付
10:30~11:00	開会式 日程説明
11:00~12:00	パネルディスカッション
12:00~13:00	昼食
13:00~17:00	分科会
17:00~18:00	入浴休憩
18:00~20:00	懇親会

時間	24日(金)
5:00~6:00	朝勤
7:00~8:00	朝食
9:00~11:00	分科会
11:00~12:00	{ 起草委員会 教区別懇談会
12:00~13:00	昼食
13:00~15:00	全体会議
15:00~15:30	閉会式

- 一、討議形式 部会制による分科会・全体会議・パネルディスカッション
- 一、参加資格 (イ) 宗務所長より推せんされた教師(定員は限定しない)
(ロ) 中央・地域教化研究会議運営委員
- 一、参加費 無料(但し交通費自弁)
- 一、主催 日蓮宗宗務院教務部・日蓮宗現代宗教研究所
- 一、日程

(ロ) 第五回北海道教研：8・24～26 小樽市妙国寺 ▼テーマ「遠忌後の布教を考える」。

(ハ) 第六回中部教研：8・31 桑名市顕本寺 ▼テーマ「今こそ本化教師の自覚を」「今こそ異体同心の団結を」「今こそ自他の教化を―教化センターを設置しよう」。○三重県教化センターが設置実動にうつされ、この経験を教区にひろげるとの立場を確認、次の決議がなされた。

第六回中部教区教化研究会議決議文

日蓮聖人七百遠忌ご報恩のため、遠忌以後の妙法広布と宗門発展に、本化教師は自覚を持って異体同心の団結のもと、自他の教化に積極的に取り組もう。

七百遠忌以後の布教伝道をもりあげるため、教区教化センターをつくろう。その第一歩として、おたがいに各管区教化センターをつくる努力をしよう。そのために、われわれはやる気のある仲間づくりを始めていこう。

(ニ) 第七回京浜教研：11・28 厚木市妙純寺 ▼基本テーマ「七百遠忌以後の教化活動」。分科会特別テーマ「立正安国の現代的意とその実践化」。分科会テーマ「お題目の説き方」「檀信徒教化上の問題と対策」「寺院経営上の問題と対策」。

(ホ) 第八回関東教研 57・3・30～31 千葉県木更津市 ▼基本テーマ「お題目の心を！現代人の魂をつかむ実践的布教方法の模索」

(ヘ) 第十一回近畿教研：57・3・5 高槻市一乗寺 ▼基本テーマ「七百遠忌後の教化活動を考える―近畿教区協議10回の反省に立って」。分科会テーマ「寺檀における教化活動を強めよう」「現代社会への教化活動に向おう」

4 研究・調査活動

(1) 研究例会の開催

〈立正安国論に学ぶ〉をテーマとし、研究員が「立正安国論」の第一問答から第八問答にいたる問答ごとを分担

して発表した。また研究員にとりくむ個別テーマの発表もあわせて行った。

その発表は次の通り。

56・5・1 第一問答…石川教張。

6・12 第二問答…久住謙是。「重須談林考」本間裕史

7・3 第三問答…古河良皓。「日蓮宗の祈禱について」宮川了篤。

9・4 第四問答…大島啓禎。

10・2 第五問答…高橋謙祐。「現代の報恩について」渡辺信勝。

11・13 第六問答…望月省一

12・11 第七問答…渡辺信勝

57・1・22 第八問答…片野博義 2・10 第九問答…常岡 裕

(2) 公開研究講座の開催

12・5、小松邦彰立正大学教授を講師に「日蓮聖人と立正安国論」をテーマに宗務院にて開催。立正安国の理想の実現をめざすと共に、自己反省に立った信仰を確立し謗法禁断にとりくむことの必要性を強調した。詳細は「現代宗教研究」第十五号に掲載。

(3) 檀林調査

飯高檀林資料の研究、松ヶ崎檀林子備調査（9・11）の実施。

(4) 教化資料センターの現宗研内設置のための予備調査の実施。

教化資料の収集・分類・保管・閲覧・貸出し、作成を行なうための内容と方法を研究し、曹洞宗など各宗研究

所および教化センターに関する資料を収集した。とくに、9・11に京都仏教大学内の浄土宗文献センター、57・3・4に大阪本願寺難波別院内大阪教区教化センターを視察し、資料・図書の保管・分類内容について詳細に調査した。

- (5) 近代日蓮宗史料、新宗教関係資料の収集。
- (6) 昭和55年度実施の「宗勢調査」報告書のまとめ原稿の作成。人口動態・寺院分布状況に関する調査の実施。
- (7) 人材調査表の作成。
- (8) 「現代宗教研究」〈特集・立正安国論と現代〉第十五号の発行。
- (9) 顧問会(5・8、57・2・9)、囑託会議(12・45、57・2・22)、研究例会の開催。